

令和5年度 授業改善推進プラン2年（課題分析と授業改善策）

	課題分析	授業改善策
国語	<p>①どのように書いたらよいか分からず、止まってしまう児童が多い。特に、自分の考えや気持ちを表現することに課題がある児童が多く、支援が必要である。</p> <p>②漢字学習の定着に課題がある児童が多く、改善策が必要である。</p>	<p>①文章を書くときに、書き出しや、見本の文章を示すことで、文型を学べるようにする。また、教科書巻末の「ことばのたからばこ」を活用し、自分の考えや気持ちに合う言葉を選択できるようにする。</p> <p>②2文字学習したら小テストを行い、スモールステップで定着を図る。</p>
算数	<p>①文章問題を読み取れず立式できない児童が多く、改善策が必要である。</p> <p>②前学年までの基礎的な学力が定着していない児童がいるため、改善策が必要である。</p>	<p>①習熟度に応じて、図や具体物で視覚的に表すなどの支援を行い、問題文の「わかっていること」と「もとめるもの」を明確にすることを徹底する。</p> <p>②関連する既習事項について、授業の初めや朝学習などで取り組み定着を図る。</p>
生活	<p>①身近な地域の場所と自分との関わりへの気付きが薄い児童がいるため、改善策が必要である。</p> <p>②見つけたことや分かったことを表現することに課題がある児童が多く、支援が必要である。</p>	<p>①町探検では、場所や物だけでなく、人のかかわりを増やす。</p> <p>②伝えたいことを選ぶポイントを具体的に明示し、表現方法を選択できるように例示する。</p>
音楽	<p>・元気に表現できるが、自分の歌声の強弱や音色を意識していない児童が多いため、改善策が必要である。</p>	<p>・身体表現を取り入れて強弱や音色を意識したり、友達と表現を聞きあったりして自分の表現に気付くことができるようにする。</p>
図画工作	<p>①用具の正しい使い方がわからずに、想像したことを表現できない児童がいるため改善策が必要である。</p> <p>②製作時間が多く必要であり、作品を共有する時間が充分確保できないため、改善策が必要である。</p>	<p>①絵具やクレパス、カッターナイフなどの基本的な使い方を授業のはじめに確認して、用具操作の練習時間を取る。</p> <p>②ICT 機器を活用し、学級児童全員の作品共有の効率化を図る。</p>
体育	<p>・グループで話し合ったり協力したりしてゲームを行うことに課題があるため、改善策が必要である。</p>	<p>・全員がゲームで協力できるようなルールにし、作戦を立てる時間を設ける。</p>
ICT 端末 の 活用	<p>・授業支援ツールを活用し、作品を記録して共有することで、共有時間の効率化を図る。また、共有することで児童が自分と友達の考えの違いを知り、友達の作品の良さに気付き、自分の作品に生かす意識を高めることにつなげる。(国語・図工)</p> <p>・タイピングができない低学年でも主体的に調べ学習をすることができるように、手書き入力を使用させる。(生活)</p> <p>・児童が用具を正しく使用できるように、実物投影機や動画を用いてお手本を示す。(国語・図工・音楽)</p> <p>・学習活動における対話や発表の場面を録音・録画し、児童の自己評価や教師の評価に活用する。(国語)</p> <p>・ホワイトボードアプリを活用して、操作的に学習内容を深める教材を作成する。</p>	